

令和8年4月1日から妊婦さん向け定期接種開始

アールエス

RSウイルスワクチン予防接種

RSウイルス感染症とは？

RSウイルスの感染によって引き起こされる呼吸器感染症で、症状は風邪のようなものから重い肺炎までさまざまです。2歳までにほぼすべての乳幼児が一度は感染し、その後も一生の間に何度も感染します。初めて感染した乳幼児の約3割では咳が悪化し、喘鳴（ゼーゼーと呼吸しにくくなること）や呼吸困難など重症化することがあります。特に生後6か月未満で感染すると重症化しやすいと言われています。

どんなワクチン？

妊娠中に接種することで、生まれてくる赤ちゃんに免疫（母子免疫）がつき、RSウイルスを原因とする気管支炎や肺炎等の病気の重症化を予防します。

重症化の予防効果は生後3か月時点で約8割、生後6か月時点で約7割と報告されています。

【定期接種対象者（無料接種期間）】

令和8年4月1日以降、接種時点で大阪市民であり、
妊娠28週から37週に至るまでの方
（妊娠28週0日から36週6日までの方）



詳しくはこちら

大阪市 RSウイルス ワクチン

検索

